

1 . 房総の偉人

ここに掲げた人々は、県が昭和38年以降選定した、県民ひとりひとりにとって忘れることのできない郷土の偉人・先覚者の20人です。(生年順によります。)

ち ば つね たね
千 葉 常 胤 (1 1 1 8 ~ 1 2 0 1)
千葉氏最盛期の猪鼻城主。

にち れん
日 蓮 (1 2 2 2 ~ 1 2 8 2)
安房郡天津小湊町出身。日蓮宗の開祖。「立正安国論」を説いた人。

ひし かわ もろ のぶ
菱 川 師 宣 (不 詳 ~ 1 6 9 4)
安房郡鋸南町出身。浮世絵版画の創始者。

だい ご しん べえ
醍 醐 新兵衛 (初代・定明) (1 6 3 2 ~ 1 7 0 4)
捕鯨の父。安房郡勝山で代々捕鯨に従事。

あお き こん よう
青 木 昆 陽 (1 6 9 8 ~ 1 7 6 9)
山武郡九十九里町と千葉市花見川区幕張町で甘藷を試作し、普及に努め、大凶作から人々を救った。

い のう ただ たか
伊 能 忠 敬 (1 7 4 5 ~ 1 8 1 8)
山武郡九十九里町出身。18歳で佐原の伊能家を継ぐ。日本最初の実測地図を完成した人。

おお はら ゆう がく
大 原 幽 学 (1 7 9 7 ~ 1 8 5 8)
世界最初の産業信用組合をつくり、農民教育と農村改革を実践した。

さ とう たい ぜん
佐 藤 泰 然 (1 8 0 4 ~ 1 8 7 2)
新しい外科手術や種痘など、近代医学の先駆者。

ほつ た まさ よし
堀 田 正 睦 (1 8 1 0 ~ 1 8 6 4)
佐倉市出身。佐倉藩主。幕末の進歩的的老中として明治開化に多大の貢献をした。

さ とう しゅん かい
佐 藤 舜 海 (1 8 2 7 ~ 1 8 8 2)
香取郡小見川町出身。医家。順天堂病院を創立。東京大学医学部前身の大学東校主宰者。

にし むら しげ き
西 村 茂 樹 (1 8 2 8 ~ 1 9 0 2)

佐倉市出身。佐倉藩の執政。明六社をおこし進歩的文明評論で世を指導「国語辞典」「古事類苑」を編さん。

しば はら やわら
柴 原 和 (1 8 3 2 ~ 1 9 0 5)

千葉県初代県令。当時の日本三県令の一人。教育に力を入れ、千葉大学医学部の基礎をきずいた。

さ とう し づ
佐 藤 志 津 (1 8 5 1 ~ 1 9 1 9)

佐倉市出身。情熱の女子教育家。東京女子美術学校初代校長。佐藤高等女学校を設立。

つば い げん どう
坪 井 玄 道 (1 8 5 2 ~ 1 9 2 2)

市川市出身。教育家。学校体育の基礎を確立した人。

いし かわ くら じ
石 川 倉 次 (1 8 5 8 ~ 1 9 4 5)

市原市南総出身。教育家。フランスの盲人ルイ・ブライユの考案した点字を50音式に翻案した人。

い とう さち お
伊 藤 左 千 夫 (1 8 6 4 ~ 1 9 1 3)

山武郡成東町出身。近代歌壇の巨匠。短歌「アララギ」の発刊を主宰。

つ だ うめ こ
津 田 梅 子 (1 8 6 4 ~ 1 9 2 9)

女子教育の母。わが国最初の女子米国留学生となる。今日の津田塾大学を創立した。

しら とり くら きち
白 鳥 庫 吉 (1 8 6 5 ~ 1 9 4 2)

茂原市出身。歴史学者。東京大学名誉教授。「満州歴史地理」「朝鮮歴史地理」をあらわした。

すず き かん たろう
鈴 木 貫 太 郎 (1 8 6 7 ~ 1 9 4 8)

東葛郡那賀宿町出身。海軍大将。第2次世界大戦終末時の首相。

くに きだ どっ ぽ
国 木 田 独 歩 (1 8 7 1 ~ 1 9 0 8)

銚子市出身。詩人。作家。自然主義文学の重鎮。「武蔵野」「牛肉と馬鈴薯」等の著書がある。